

投資事業評価調書 (新規・継続)

部 局 課 室 名	農林水産部 農産園芸課	記 入 者 職 氏 名	農産園芸課長 藤本 喜龍 (副課長 藤本 保雄)
--------------	-------------	----------------	-----------------------------

1 事業の概要

事業名	県立公園あわじ花さじき駐車場整備事業	総事業費 (概算)	128百万円
		R5年度当初 予算計上額	128百万円

所在地	淡路市楠本
-----	-------

事業目的	<p>平成10年に開園したあわじ花さじきは、便益施設棟等のリニューアルを経て、令和2年3月に県立公園として供用が開始された。</p> <p>近年、明石海峡大橋の通行料値下げや淡路島内のレジャー施設の増加等に伴い、開園当時に比べ大幅に来園者数が増加している。(新型コロナの影響下で一時的に減少しているが徐々に回復傾向にある。)【表1参照】</p> <p>また、春・秋の休日を中心に、施設附属駐車場(202台)の収容能力を超える来園者の車が集中し、周辺道路に大きな渋滞を引き起こす状況となっていた。【表2参照】</p> <p>平成26年以降、緊急避難的に指定管理者が近隣の民有地を臨時の駐車場(210台)とすることで対処しているが、地権者の意向により使用期限(令和6年11月末)の更新はできず、施設周辺の地形、農畜産業の実施状況から、近隣で新たな駐車場用地の確保ができない状況である。</p> <p>このため、令和5年度中に新たにあわじ花さじき園内に駐車場を整備し、来園者の利便性・満足度の向上及び周辺道路の渋滞発生を防止する。</p> <p>【表1】入場者数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H10</th> <th>~</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4(見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入園者数</td> <td>557,500</td> <td></td> <td>876,130</td> <td>710,062</td> <td>735,436</td> <td>448,165</td> <td>473,820</td> <td>563,910</td> </tr> </tbody> </table> <p>【表2】施設附属駐車場での年間収容台数等 (参考)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>合計</th> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4(見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">常設駐車場 ①</td> <td>台数</td> <td>253,207</td> <td>201,932</td> <td>202,871</td> <td>658,010</td> <td></td> <td>132,996</td> <td>140,739</td> <td>160,686</td> </tr> <tr> <td>①からオーバーフローした台数・日数</td> <td>台数</td> <td>10,414</td> <td>10,580</td> <td>13,360</td> <td>34,354</td> <td></td> <td>10,987</td> <td>9,262</td> <td>8,359</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日数</td> <td>20</td> <td>26</td> <td>29</td> <td>75</td> <td></td> <td>46</td> <td>37</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平均(台/日)</td> <td>521</td> <td>407</td> <td>461</td> <td>458</td> <td></td> <td>239</td> <td>250</td> <td>226</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ R2年度以降は新型コロナの影響を大きく受けているため、H29~R1年度の実績で収容台数を検討している。</p>	年度	H10	~	H29	H30	R1	R2	R3	R4(見込み)	入園者数	557,500		876,130	710,062	735,436	448,165	473,820	563,910	区分		H29	H30	R1	合計		R2	R3	R4(見込み)	常設駐車場 ①	台数	253,207	201,932	202,871	658,010		132,996	140,739	160,686	①からオーバーフローした台数・日数	台数	10,414	10,580	13,360	34,354		10,987	9,262	8,359		日数	20	26	29	75		46	37	37		平均(台/日)	521	407	461	458		239	250	226
年度	H10	~	H29	H30	R1	R2	R3	R4(見込み)																																																													
入園者数	557,500		876,130	710,062	735,436	448,165	473,820	563,910																																																													
区分		H29	H30	R1	合計		R2	R3	R4(見込み)																																																												
常設駐車場 ①	台数	253,207	201,932	202,871	658,010		132,996	140,739	160,686																																																												
	①からオーバーフローした台数・日数	台数	10,414	10,580	13,360	34,354		10,987	9,262	8,359																																																											
	日数	20	26	29	75		46	37	37																																																												
	平均(台/日)	521	407	461	458		239	250	226																																																												

事業内容	<p>県立公園として、長期にわたって安定的な施設運営を可能とするため、施設設置者の県が園内に用地を確保し、駐車場を整備する。</p> <p>【整備規模】 収容台数 200台、整備面積 9,300 m<sup>2</sup> (駐車場への進入路、遊歩道含む)</p>
------	--

事業スケジュール	令和5年度												
	区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	整備			←	←								

## 2 基準に基づく評価

項目	説明
必要性	<p>施設へのアクセスは、通年で運行されている公共交通機関がないため、来園者のほとんどが車によるものとなっている。</p> <p>現状のまま臨時駐車場の使用期限である令和6年11月末を迎えた場合、平成26年以前と同様に周辺道路に大きな渋滞が発生し、来園者の利便性や満足度を大きく低下させるだけでなく、周辺の農畜産業や観光施設にも大きな影響を与えることが危惧される。</p> <p>よって、速やかに新たな駐車場を整備し、来園者の利便性確保、周辺地域での渋滞発生を防止する必要がある。</p>
有効性・効率性	<p>新たな駐車場は、既存の駐車場ゲートを利用することが可能な区域に整備することで、整備コスト及び施設維持コストの抑制を図るとともに、臨時駐車場から徒歩15分以上かかっている来園時間を大幅に短縮し、来園者の利便性・満足度向上につなげることができる。</p>
環境適合性	<p>新たな駐車場は、施設及び周辺の景観への影響が少ない園内の縁辺部の未利用地の活用を予定している。</p> <p>また、土壌汚染対策法、県総合治水条例など関係法令を遵守するとともに、駐車場・アクセス路には環境に配慮した資材の導入、できるだけ多くの緑地確保等を行い、近隣農畜産業その他周辺環境に配慮する。</p>
優先性	<p>臨時駐車場の返還がある令和6年度までに、来園者の増加に対応し、渋滞発生の防止を図る新たな駐車場の整備が急務である。</p>

## 3 審査会意見

審査会意見	事業の実施は妥当である。
-------	--------------